



桐花賞

OP・ダート2000m M1

12月31日(水) 水沢競馬場

昨年の優勝馬・ライアン

農林水産大臣賞典／社台スタリオンステーション協賛

第49回 桐花賞 (M1) (シスキン賞)

水沢競馬場／3歳以上OP・ダート2000m

12月31日(水)第12競走 16時50分発走

岩手県の県の花・桐にちなんで命名された桐花賞は1975（昭和50）年開設。当時はサラブレッドの桐花賞、アラブの紫桐杯があり、それぞれファン投票で出走馬を決めるレースとして生まれました。当初は10月に行われていましたが平成に入って年の瀬に移り、以降は1年を締めくくるグランプリ・桐花賞として親しまれてきました。歴代の勝ち馬にはメイセイオペラやトーホウエンペラー、トウケイニセイ、トニージェントラー時代を築いた馬たちの名前が並び、さしづめ“岩手競馬の名馬の歴史年表”ともいえる錚々たる顔ぶれに。今年その中に加わるのは果たしてどの馬なのでしょうか？

■フタイテンホイール(牝3 盛岡・齋藤雄一厩舎) ファン投票12位



フタイテンホイールのこの1年

今年はダービー（東北優駿）5着が、よく走ってくれたと思いますね。勝ち星は手にできなかつたけれど400kgそこそこの馬格の馬が条件的にも厳しいところでよく走ってくれたし頑張ってくれた。前の松谷オーナーが亡くなってしまったし。今年1年は頑張ってくれたと思っています。

状態があまり落ちなくて変わりもなくてね。脚元にも特に影響がない。連戦で疲れているかな…と思っていたら好走したりね。善戦するけど勝ち切れないところがあつて白星はなかったけれど、ここまで頑張りを褒めてあげたい。（齋藤雄一調教師）」

今シーズンは桐花賞が20戦目。勝ち星こそなくここまで来たが重賞級でも崩れず入着しており自身の地力は示してきた。初の対古馬との重賞だがここでもタフな走りを見てくれるだろう。

■サクラトップキッド(牡4 水沢・伊藤和忍厩舎) ファン投票4位



みちのく大賞典5着、マーキュリーC4着と素質の高さを示し、金沢遠征でもスタミナの豊富さをアピール。その成長ぶりが北上川大賞典連覇となって結実した。ここでも主役候補の一馬だ。

サクラトップキッドのこの1年

今年の前半戦はゆっくり急がずレースを使いはじめました。馬体重なんかは大きくなかったんですけども安定してきたのと、ジョッキーの指示に素直にというか、動かそうと思った時に動けるようになりましたね。金沢に2回遠征に行ったり、マーキュリーカップもそうでしたが、強い相手と戦ったことでひとつ成長してくれたかなと感じます。

桐花賞という大きなレースですが自分的には平常心で挑めれば良いなと思っています。（伊藤和忍調教師）

■ヒロシケン(セ6 水沢・佐藤雅彦厩舎) ファン投票1位



マーキュリーCは10着ではあったがJRA勢相手でも真っ向勝負を貫けるスピードを見せつけたし、なにより“それができる馬”だと印象づけたのが大きい。前走取り止めは痛かったが陣営は前向き。ここで雌雄を決する。

ヒロシケンのこの1年

今年の前半戦は強いライバルがいましたが、自分としては逆にいてくれたから楽だったかな。あちらはやはり注目される、こちらは2番手みたいな感じだったからプレッシャーもかかりないでやれましたね。

今年は馬が力を付けたんじゃないかと言われても見ていてあまり大きく変わったように感じない。ですが、今年は去年以上に厳しい競馬をしているんだけどもここまで何事もなくこれたのは、力を受けているからかもしれない。前走が取り止めになったのは予定外でしたが、馬のことを考えれば、プラスではないかもしれないがマイナスにもならないだろう。元々レース間隔が短いところでしたしね。余力を持って桐花賞に挑めるのだと考えています。（佐藤雅彦調教師）

■リケアカプチーノ(牡3 水沢・菅原勲厩舎) ファン投票2位



6月の一條記念みちのく大賞典では史上初の3歳馬による制覇を達成。その後も3歳世代に留まらず岩手の頂点に立てる力量を示してきた。目指すは夏冬ふたつのグランプリ連覇のみだ。

リケアカプチーノのこの1年

こちらに来た当初からおとなしくて手のかからない馬。最初から良い結果も出してくれましたが、みちのく大賞典は古馬相手に簡単に勝てると思つていなかつた。あれで周りも見る目が変わったんじゃないか。

今年一年は、自分が思っていた以上に馬が頑張ってくれた感じはするね。桐花賞は馬場があまり軽くならなければ良いと思っていますが、状態は変わりはないですから良い結果を期待しています。（菅原勲調教師）

■レイタム(セ4 水沢・伊藤和忍厩舎) ファン投票5位



転入当初はB2級だったが、そこからあっという間にA級まで進出したのがこの馬の地力。重賞ではまだ好結果がないもののそれも成長のステップの一段階。この戦いからさらに飛躍を目指す。

レイタムのこの1年

厩舎に来た時から形の良い馬だな、走れそうな馬だなという印象を持っていましたが、気持ちの面でもうちょっと、もう一段階成長できるのではというところがあつて、それは今でも感じています。

オープンでも特別なら十分にやってくれるけれど重賞に入るとまだちょっと脆さが出る。距離の融通は利きますし、強いメンバーと戦いつつ精神面が鍛えられれば。そこが来年度に向けての課題になるのでしょうか。（伊藤和忍調教師）

■ライアン(牡6 水沢・佐藤浩一厩舎) ファン投票7位



今季ここまで重賞タイトルは無いままに來たがレース内容は条件を問わず安定。それがこの馬本来の高い力量の現れと考えるべきだろう。昨年の覇者として堂々挑む。

ライアンのこの1年

去年は夏負けが酷くて夏以降の成績が良くなかった。今年はそれがなく、無事に夏を越してきたんだけども成績が伴ってないというか。去年は早い時期に重賞も勝ったけれど今年は何も獲れずにきている。去年は追い切りでも持ったままで思っていた以上の時計を出したりしていたのが今年はそれほどではなくて、そこが違っているように感じます。

ただ、これは去年もそうでしたがこの時期に来て数段具合が良くなってきた。調教だけでなく普段の身のこなしなんかね。去年の再現もあっていい気配になってきたと思っていますよ。（佐藤浩一調教師）

■フレイムウィングス(セ8 水沢・酒井仁厩舎) 競馬専門紙記者推薦



重賞でも上位で好走していた昨年までに比べると確かに今年の成績は…かもしれないが、勝ったレースで見せた強さは確かでまだまだ衰えはない。水沢2000mの条件も好相性といえるのは忘れてはいけない。

フレイムウィングスのこの1年

秋になって体調もやっと戻ってきて、11月の盛岡で勝った時はここで負けるわけには行かない…と思えるくらいにはなっていました。年齢的なものを感じますが、3年連続で桐花賞に出走できるのはありがたいことです。

北上川大賞典では内枠を意識して位置を前の方に取って…と戦ってみたのが逆にあまり良くなかったように感じました。やはり自分のペースで構えていた方が末脚を発揮するでしょうから、今回は自分の競馬で上位を狙っていきたいですね。（酒井仁調教師）

■カナオールウェイズ(牡5 水沢・菅原勲厩舎) 競馬専門紙記者推薦



転入当初は芝でこそその馬かと思える戦績だったが、ダートに転じてダートをこなしたところかこれが強い。特に近二走は目を惹く好タイム・好内容。相手は一気に強力になったが軽視は禁物だ。

カナオールウェイズのこの1年

元々走る馬なんだろうけども、どちらかと言えば芝馬だと思っていたけどダートも大丈夫、対応してくれた。ダートのここ2戦も好内容だしね。

馬の状態はこの馬にしては一番良いね。状態が良くなつて元々の力を出せるようになつたのでしよう。今回は相手もさすがに強いですが、別に展開に左右される馬じゃない、前に行つてもいいし後ろからでもいい馬だからね。後はスタート次第。うまく出ることができれば先行できるだろうし、出遅れても後ろからゆっくり行けばいいから、作戦は特にこだわらず挑むつもりです。（菅原勲調教師）

■レールガン(牡8 水沢・佐藤浩一厩舎) ファン投票10位



8歳で迎えた今シーズンはB2級スタートだったが掲示板を外さぬ戦いを見せて秋にはA級復帰。北上川大賞典でも好走してまだまだ侮れない事を再確認させた。大舞台で超電磁砲が炸裂するか。

レールガンのこの1年

北上川大賞典には5年連続で出走。桐花賞も連続ではないですが3回目の出走で、本当に頑張って走ってくれています。今年はそして、去年はレースで走った後の回復にちょっと時間がかかるようになっていたんですが今年は回復するのが早い。年を取つてから逆に回復するのが早くなっている。だからレースの数もこなせているし惨敗するような内容でもなくなっているんじゃないでしょうか。

ここまで無冠でね、タイトルは獲つてないのが最大の難点という馬ですが、前走の北上川大賞典が水沢の重賞で一番良い結果を出してくれたし昨年の桐花賞でも大きな差は無かった。今年は去年よりひとつでも上の結果を残してほしいね。（佐藤浩一調教師）

■ラストマン(牡8 水沢・板垣吉則厩舎) ファン投票9位



転入2戦目から5連勝でA級突入。それもすべて転入初戦の7着という結果を糧に工夫を重ねた陣営の努力のたまものというべきだろう。盛岡向きという評価も頷ける戦績だが軽視は避けたい。

ラストマンのこの1年

大井から来た当初はちょっと馬の癖が分からなくてふがいない結果になってしまったんですけども、そこからは立て直して順調に連勝してくれました。年齢的なところもあってA級に上がってからは惜しいレースが続いていますがこの馬なりに頑張ってくれているんじゃないかなと思っています。元々はJRAのオープンで走った馬ですから能力的には高いものを持っているのでしよう。

どちらかと言えば大きな馬場の方が良いタイプなので岩手なら盛岡がやっぱりベストなのかなという気はします。右回りだとちょっと癖がありますし、馬が気分良く戦ってくれれば。後は展開が向いてくれればですね。（板垣吉則調教師）

■スズカゴウケツ(牡8 水沢・千葉幸喜厩舎) ファン投票8位



重賞ではしばしば大きめの着順に終わるためには目立たないが実はA級特別では転入直後から連対を外していない。重賞でもあと少し展開が向けばと思わせる敗戦は少なくないだけに力量は互角と判断しよう。

スズカゴウケツのこの1年

A級戦では安定していて大崩れなくこれましたが重賞になるとメンバー的にちょっと厳しいところがありました。しかし調子はずっと良くて、順調に1年過ごしてくれましたね。

以前は水沢に苦手意識がありましたが6月に水沢で勝った時が積極的な良いレース。あの内容は良かったと思っています。今回も外枠、守るものはないのでここでも積極的なレースを期待しています。（千葉幸喜調教師）

■アレクサ(牡5 盛岡・永田幸広厩舎) ファン投票11位



JRA時代はダート1800m前後で手堅く戦ってきて2勝クラスも突破寸前。そんな戦績を思えば現状の走りがこの馬本来の力量ではないだろう…も頷ける。大舞台の戦いのなかでそれを取り戻したい。

アレクサのこの1年

今年はレースの結果、成績で見ると良いとは言えないですが、馬の走り方、走る格好は良くなっているしコンディション自体も入厩してから少しずつ上がっては来ています。ただ結果にはなかなか反映されない段階ですね。

折り合いを苦にしないタイプなので長めの距離に適性があると考えて前走は2500mを使ってみましたがこれは長かった。JRAの2勝クラスにいたのだからもっと走る力はあるのでしょうかがパフォーマンス的にはなかなか出てこない。何かきっかけがつかめないか、今回はこれまでと違った選択肢を考えながらの競馬を考えています。（永田幸広調教師）